



移転再建築後の正面



移転再建築後の道場内部



解体した材に符号をふり順番通りに元の位置に再建築。必要に応じて、小屋組や壁に耐震補強を施した。



道場の床については、歴代の門下生のそれぞれの記憶や思いが染み込んでいる。また、道場にとって床組の柔剛の具合や踏み込んだときの響きと床板の足裏への感触は、非常に重要である。そこで、独特な床の組み方を既存の材を使って慎重に再建築した。既存の長さ五間（9m）厚さ一寸二分（36mm）の杉床板を既存の順番通りに敷き込み、必要最小限の補修を施した。床の響きのために埋められたと伝わる床下の瓶も同様に位置・深さ・傾きまで忠実に復元再埋設した。



解体移転前の水戸東武館

建築作品部門

建築物の保存問題全般

水戸東武館

解体・移転・復元再建築

水戸東武館は、幕末に水戸藩に出仕した剣聖千葉周作の創始した北辰一刀流を現代に伝える剣術及び新田宮流居合術の道場である。

初代の道場は、水戸空襲で焼失したが、戦後GHQの武道禁止令が解けるとすぐに道場を建築（昭和28年）した。

北辰一刀流と新田宮流居合術に次いで平成25年に道場・正門附塀が水戸市の指定文化財（建造物）に指定された。

平成26年に前面道路の拡幅に伴い約100m程東側に移転することになり、解体し移転先で復元再建築することとなった。

文化財の復元再建築のため、解体前に忠実な復元であるが、耐震等の構造的補強・移転に伴い変化した周辺環境や土地形状を勘案した建家と正門附塀の配置変更・管理事務所棟増築をおこなった。



応募代表者：鈴木 弘

株式会社 EOS建築事務所

1963年 茨城県土浦市生まれ
1986年 横浜国立大学建築学科 卒業
1986年 三上建築事務所 入所
2005年 Shade建築設計工房 設立
2015年 EOS建築事務所 共同設立
実務経歴30年